

文化資料館収蔵衣類資料目録（１）

民俗資料整理グループ^{*1}, 芦葉抄苗^{*2}

はじめに

文化資料館は開館以来、約40年間にわたり、「茅ヶ崎」であることにこだわり続け博物館活動を展開してきた。その間に、まちの自然・歴史を調査・研究し、収集・保存してきた資料は約5万点以上にのぼる。今回は、そのうち約1万点以上を収蔵している民俗資料の中から「衣」の資料を紹介する。

文化資料館では、近代から昭和にかけて着用された衣類を約1千点収蔵している。それらは着物では晴着から普段着、または作業着にいたるまで、洋装では礼服から軍服にいたるまで多様に揃っている。今回は、その一部を目録として掲載する。

着物とは、本来は身につける衣類を指す言葉であったが、明治期に西洋式の衣服、いわゆる洋服が着用されるようになって以降、洋服に対して従来の日本の衣服を「和服」と呼ぶようになった。それと同時期に、着物という言葉も本来の意は薄れていき、和服と同様に用いられるようになったという。ちなみに、呉服とは麻や木綿の織物である太物に対し、絹織物のことをいい、それを扱う店を呉服屋と呼ぶ。呉服店は江戸時代になると町人文化に支えられて繁盛した。ちなみに、今日ある老舗デパートの多くは呉服屋から発展したものである。

着物には曲線の素材を用いたものではなく、すべて直線の布で作られている。また、基本的な構造は身体をすっぽりと包むような円筒形に作られており、男女の別や大人と子供では寸法の異なりはあるが、その基本的な構造は同じであり、着る人によって形を変えることはない。そのため、親から子、子から孫へと受け継がれ、時代の流行に関係なく着こなすことができる。着物はよく「合理的」とあるといわれるが、それは一枚の布を身体に合わせて纏う着こなし方や、仕立て直して受け継ぐ精神にも及ぶもの

であって、まさに日本の暮らしの中で発展していった合理的で機能的な独自の「衣」と考えられる。

収蔵資料の整理にあたっては、開館以来、市民ボランティアの皆様にご協力を頂いており、その多大なるご貢献のもと、このような目録を発表させていただく機会を得られましたことを深く御礼申し上げます。

凡 例

一、掲載する衣類資料は平成25年3月現在の受入状況に基づくものである。

一、収蔵する衣類を材質、用途別に分類した。

一、名称については、「色＋生地＋模様＋衿・単＋男女児物＋形態」の順に並べたものを名称とした。（例）「黒＋絹＋無地＋衿＋男物＋長着」→「黒絹無地衿男物長着」

一、目録の掲載順は男女物の別、色の別、生地の素材別、衿・単の別、形態の別に揃えて一覧とした。

一、紋付の場合、備考欄において「文様」、「紋の数」、「縫い紋」を明記した。

着物の用語について

○長着…「きもの」のことをいう。前を合わせて帯を締めて着る。季節により、衿、単、綿入がある。

○衿…本来は表地に裏地を縫い合わせた衣服を意味するが、おもに裏のついた長着のことをいう。衿長着は十月から五月末頃までの期間に着用する。

○単…裏のつかない長着のことをいう。
着用するのは六月から九月までの期間で、六月と九月は厚地の単（御召、銘仙、紬、縮緬、縞・緋木綿など）、八月は薄地の単（絹、紗など）を着た。

○綿入…防寒のため、表布と裏布の間に綿を入れた着物のこと。羽織、どてら、ねんねこ、胴着、ちゃんちゃんこなどを指す。

○羽織…和服用の外衣の一つで長着の上に着る。

○肩衣…袖無しの上衣。共布で作った袴と合わせて着る。この上下対のものを袴といい、江戸時代には武士の正装として用いられた。

○袴…腰から下を覆うようにして着る。共布で作った肩衣と合わせて着る。

○打掛…帯付の上から羽織るように着る小袖仕立てのもの。近世の武家女性の礼服であったが、現代では婚礼衣装に用いられている。

○留袖…既婚女性の礼装用の長着をいう。今日では留袖とは江戸褌と呼ばれる裾部分にのみ模様の入った長着のことをいう。

○長襦袢…和服下着の一つ。長着の下に着ることによって、姿を美しく整える役割を持つ。季節により袷と単を分けて着用する。

○丹前…綿を入れた防寒着。襦袢（どてら）ともいう。

○半纏…長着の上に着る。防寒のためや、職業を表すために着る。

○紋付…長着や羽織に家紋をつけたもので、礼服として用いられる。背紋・袖紋・抱き紋をつけた五つ紋が最も格式の高いものとされ、次に背紋・袖紋の三つ紋、背紋のみの一つ紋となる。また、紋には染抜き紋、縫い紋などの種類がある。

参考文献

文化出版局編『最新きもの用語辞典』文化出版局発行 2000年

*1 資料整理グループとは、文化資料館で収蔵している民俗資料の整理作業を行う市民ボランティアグループのことである。

*2 茅ヶ崎市教育委員会社会教育課茅ヶ崎市文化資料館社会教育嘱託員（学芸員）

文化資料館収蔵衣類資料目録(1)

番号	資料名	年代	備考
1	黒絹羽二重無地紋付衿男物長着		丸に蔓(五つ紋)
2	黒絹紬無地紋付衿男物長着		丸に違い鷹羽(五つ紋)
3	紺絹小紋紋付衿男物長着		丸に三つ蔓柏(五つ紋)
4	鼠麻無地紋付単男物長着		隅切角に三つ桜(五つ紋)
5	黒絹無地衿男物長着		
6	黒絹縦縞衿男物長着		
7	黒絹縦縞衿男物長着	大正～昭和初期	13と重ねて着用
8	黒絹縦縞衿男物長着		
9	紺絹縦縞衿男物長着	大正～昭和初期	
10	紺絹紬雨縞衿男物長着		
11	茶絹紬縞衿男物長着		
12	茶絹格子衿男物長着		
13	茶絹縦縞衿男物長着	大正～昭和初期	7と重ねて着用
14	茶絹御召梨地衿男物長着		
15	茶絹紬縦縞衿男物長着		
16	茶絹縦縞衿男物長着		
17	茶絹紬縦縞衿男物長着		
18	茶絹紬縦縞衿男物長着		
19	茶絹紬縞衿男物長着		
20	茶絹横縞衿男物長着		
21	茶絹小紋衿男物長着		
22	茶絹風通御召変縦縞衿男物長着		
23	茶絹紬縞衿男物長着		
24	紺木綿縞衿男物長着		
25	黒絹縦縞単男物長着	昭和初期	63と重ねて着用
26	黒絹多摩結城縞単男物長着		
27	紺絹横縞単男物長着		
28	濃茶絹縮微塵縞単男物長着		
29	紺麻蚊縞単男物長着		
30	紺麻微塵格子単男物長着		
31	紺麻上布縦縞単男物長着		
32	鼠麻縦縞単男物長着		
33	白麻縞単男物長着		
34	紺木綿蚊縞単男物長着		
35	紺木綿縮縦縞単男物長着		
36	焦茶絹縦縞綿入男物長着		
37	茶木綿縞綿入男物長着		
38	黒絹無地紋付衿男物羽織		丸に葛(五つ紋)
39	黒絹小紋紋付単男物羽織	江戸後期	丸に違い鷹羽(一つ紋)
40	黒絹羽二重無地紋付衿男物羽織		丸に立沢湯(五つ紋)
41	黒絹塩瀬無地紋付単男物羽織		上がり藤に本(三つ紋、縫い紋)
42	黒絹紬無地紋付単男物羽織		上がり藤に本(五つ紋)
43	黒絹横縞無地紋付単男物羽織		下がり藤(五つ紋)
44	黒絹紬無地紋付単男物羽織		丸に二つ割り剣片喰(五つ紋)
45	黒絹紬無地紋付単男物羽織		左三つ巴(五つ紋)
46	黒絹羽二重無地紋付衿男物羽織		丸に蔓柏(五つ紋)
47	黒絹無地紋付衿男物羽織		丸曜(五つ紋)
48	黒絹御召無地紋付衿男物羽織		八角に三つ盛り梅(一つ紋、縫い紋)
49	黒絹紗無地紋付単男物羽織		八角に三つ桜(一つ紋)
50	黒絹塩瀬無地紋付衿男物羽織		丸に三つ柏(一つ紋、縫い紋)
51	黒絹紬紋付無地単男物羽織		丸に三つ柏(一つ紋、縫い紋)
52	黒絹羽二重無地紋付衿男物羽織	昭和初期	真田六文銭(五つ紋)、81と対
53	黒絹塩瀬無地紋付衿男物羽織		下がり藤(三つ紋)
54	焦茶絹紬無地紋付単男物羽織		上がり藤(三つ紋)
55	黒絹小紋衿男物羽織		
56	黒絹無地衿男物羽織		
57	茶絹紬縞衿男物羽織		
58	焦茶絹横縞衿男物羽織		
59	濃茶絹紬縞衿男物羽織		
60	濃茶絹無地衿男物羽織		

文化資料館収蔵衣類資料目録(1)

番号	資料名	年代	備考
61	藍木綿久留米緋袴男物羽織		
62	黒絹細縞単男物羽織		
63	黒絹縦縞単男物羽織	昭和初期	25と重ねて着用
64	黒絹縞無地単男物羽織		
65	紺絹紗無地単男物羽織		
66	黒麻縞無地単男物羽織		
67	青麻小紋紋付単男物肩衣	江戸時代	丸に違い鷹羽(三つ紋)、84と対
68	鼠麻小紋紋付単男物肩衣	江戸後期	加藤藤(三つ紋)、85と対
69	黒絹御召微塵模様単男物袴		
70	黒絹縦縞縦縞単男物袴		
71	黒絹仙台平縦縞単男物袴		
72	藍鳶絹縦縞単男物袴		
73	鼠絹縦縞単男物袴		
74	茶絹仙台平縦縞単男物袴		
75	茶絹縦縞単男物袴		
76	茶絹縹子縦縞単男物袴		
77	茶絹縦縞単男物袴		
78	茶絹縦縞単男物袴		
79	茶絹横縞無地単男物袴		
80	茶絹仙台平縦縞単男物袴		
81	茶絹縦縞単男物袴	昭和初期	52と対
82	濃茶絹縦縞単男物袴		
83	濃茶絹縦縞無地単男物袴		
84	青麻小紋紋付単男物袴	江戸時代	丸に違い鷹羽(紋)、67と対
85	鼠麻小紋紋付単男物袴	江戸後期	加藤藤(紋)、68と対
86	茶濃淡交織縦縞単男物袴	明治～大正	
87	緑絹羽二重すげ笠模様袴男物長襦袢		
88	緑絹羽二重書道具模様袴男物長襦袢		
89	生成麻無地単男物長襦袢		
90	白麻縮横縞熨斗目模様単男物長襦袢		
91	鼠毛織絵巻模様袴男物長襦袢		
92	濃紺絹無地袴男物半襦袢		
93	茶絹格子綿入男物丹前		
94	茶絹横縞綿入男物丹前		
95	薄茶絹八端縦縞綿入男物丹前	昭和初期	
96	薄茶絹紬縦縞綿入男物丹前		
97	濃緑木綿紬緋綿入男物丹前		
98	薄茶木綿格子模様綿入男物丹前	昭和30年頃	
99	紺絹縦縞綿入男物半纏		
100	金茶絹格子綿入男物半纏		
101	古代紫絹博多献上袷角帯		
102	鼠絹小菊模様袴男物細帯		名古屋帯を仕立て直したもの
103	茶絹塩瀬青海波模様袴男物帯		
104	黒絹無地単角帯		
105	金茶絹縞織模様単男物細帯		
106	黒毛織無地袴男物和服用コート		二重まわし、毛皮襟付き
107	黒毛織無地袴男物和服用コート	大正末～昭和初期	二重まわし
108	黒毛織無地袴男物和服用コート	大正～昭和初期	二重まわし、狐の襟巻付き
109	黒毛織無地袴男物和服用コート	明治～昭和初期	
110	黒毛織無地袴男物和服用コート		
111	黒毛織無地総裏男物礼装用上衣	昭和10年代	112・113と三つ揃い、モーニングコート
112	黒毛織無地総裏男物礼装用チョッキ	昭和10年代	111・113と三つ揃い
113	黒毛織縦縞単男物礼服用ズボン	昭和10年代	111・112と三つ揃い
114	黒毛織無地総裏男物礼装用上衣	明治末～大正	115と対、フロックコート
115	黒毛織無地総裏男物礼装用チョッキ	明治末～大正	114と対
116	黒毛織無地単男物学生マント	昭和13～15年	旧制高等学校のもの
117	白真綿キルティング肌着		
118	水浅葱絹縮緬花鳥模様紋付打掛		丸に木瓜(三つ紋)
119	水浅葱絹縮緬花鳥模様打掛		
120	黒絹紬無地紋付袴女物長着	江戸末期～明治	鳶(五つ紋)

文化資料館収蔵衣類資料目録(1)

番号	資料名	年代	備考
121	黒絹紬無地紋付衿女物長着		丸に違い鷹羽(三つ紋)
122	黒絹羽二重無地紋付衿女物長着		丸に花菱(五つ紋)
123	黒絹縮緬無地紋付衿女物長着		丸に片喰(五つ紋)
124	黒絹羽二重無地紋付衿女物長着		丸に抱き茗荷(五つ紋)
125	黒絹立湧模様衿女物長着		
126	黒絹縮緬小紋衿女物長着		
127	紺絹木の葉矢絰模様衿女物長着		
128	紺絹立湧に桜模様衿女物長着		
129	青絹紬絰背拔衿女物長着		
130	鼠絹小紋衿女物長着		
131	鼠絹銘仙縦縞衿女物長着		
132	鼠絹江戸小紋衿女物長着		
133	鼠紫絹銘仙菊花模様衿女物長着	昭和初期	
134	鼠絹継ぎ合わせ女物重ね長着		
135	茶絹よろけ縞衿女物長着		
136	鶯絹縦縞衿女物長着		
137	赤絹梅枝模様衿女物長着		
138	臙脂絹御召縫い取り花模様衿女物長着	昭和初期～中期	
139	黒絹銘仙花模様衿女物長着	昭和初期	
140	黒絹大島市松模様衿女物長着		
141	黒絹縦縞衿女物長着		
142	黒絹縮緬縦縞衿女物長着		
143	黒絹紬無地衿女物長着		
144	紺絹市松織模様衿女物長着		
145	紺絹御召横縞衿女物長着		
146	紺絹紹小紋衿女物長着		
147	紫絹銘仙花模様衿女物長着	昭和初期	
148	紫絹御召格子衿女物長着	大正～昭和初期	
149	紫絹紬絰衿女物長着		
150	茶絹紬絰衿女物長着		
151	茶絹紬絰衿女物長着		
152	茶絹紬絰衿女物長着		
153	茶絹紬絰衿女物長着		
154	臙脂絹縮緬花柄地紋抽象模様衿女物長着		
155	臙脂絹縮緬小紋菊花ちらし模様衿女物長着		
156	黄絹銘仙格子衿女物長着		
157	紺木綿絰衿女物長着	昭和30年代以降	
158	紺木綿絰衿女物長着		
159	紺木綿絰衿女物長着		
160	濃茶木綿絰衿女物長着		
161	桃色交織衿女物長着		
162	黒絹紹無地紋付単女物長着		丸に三つ楓(三つ紋、縫い紋)
163	黒絹縮緬無地紋付単女物長着		丸に花菱(五つ紋)
164	黒絹紹無地紋付単女物長着		丸に木瓜(五つ紋)
165	黒絹御召縦縞単女物長着	大正時代	丸に三階松(一つ紋)
166	黒絹縮緬縦縞単女物長着		
167	黒絹縦縞単女物長着		
168	黒絹紬縦縞単女物長着		
169	紺絹縮緬横縞単女物長着	大正時代	
170	紺絹紬井絰単女物長着		
171	紺絹格子単女物長着		
172	紺絹絰単女物長着		
173	青絹銘仙流水と木の葉模様単女物長着		
174	藤色絹紹萩模様単女物長着	大正～昭和初期	
175	紺鼠絹紹縮緬縦縞単女物長着		
176	鼠絹亀甲模様単女物長着		
177	薄茶絹紹変わり水玉模様単女物長着		
178	薄茶絹紹木の葉模様単女物長着		
179	象牙色絹明石縮緬絰単女物長着		
180	臙脂絹紗金銀織模様単女物長着		

文化資料館収蔵衣類資料目録(1)

番号	資料名	年代	備考
181	紺麻縮格子単女物長着		
182	鼠麻幾何学模様単女物長着		
183	鼠麻縮緋単女物長着		
184	濃鼠麻小紋単女物長着		
185	濃鼠麻無地単女物長着		
186	薄桃色麻縮緋縦縞単女物長着	昭和初期	
187	白麻縮幾何学模様単女物長着		
188	紺木綿縮緋単女物長着		
189	紺木綿縮緋単女物長着		
190	紺木綿菊花模様単女物長着		
191	紺木綿縮緋単女物長着		
192	紺木綿縮緋単女物長着		
193	鼠木綿縦縞単女物長着		
194	白木綿縮草花模様単女物長着		
195	緑交織縦縞単女物長着	昭和20年以降	
196	濃緑毛織縦縞単女物長着		
197	茶絹紬縮丸紋花模様綿入女物長着	大正～昭和初期	
198	赤絹継ぎ合わせ綿入女物重ね長着		
199	黒絹縮緋松鶴模様紋付留袖		丸に剣片喰(五つ紋)、比翼仕立て
200	黒絹縮緋宝船模様紋付留袖		丸に三つ柏(五つ紋)
201	黒絹縮緋松竹梅模様紋付留袖		丸に蔓柏(五つ紋)、比翼仕立て
202	黒絹縮緋扇面鶴松竹梅模様紋付留袖		五つ丁字(三つ紋)
203	黒絹縮緋波に松鶴紅葉模様紋付留袖		六つ重ね丁字(五つ紋)
204	黒絹縮緋小花三寸模様紋付留袖		丸に五三桐(五つ紋)
205	紫絹縮緋花鳥模様紋付留袖		丸に三階松(五つ紋)
206	紫絹蘭草蜻蛉模様紋付単訪問着		剣片喰(一つ紋、縫い紋)
207	黒絹縮緋無地紋付単女物羽織		九曜(三つ紋)
208	黒絹縮緋無地紋付単女物羽織		丸に花菱(三つ紋)
209	黒絹縮緋無地紋付単女物羽織		丸に花菱(三つ紋)
210	黒絹縮子壺垂れ地紋付単女物羽織		抱き茗荷(一つ紋、縫い紋)
211	黒絹縮子無地紋付単女物羽織		丸に二つ剣片喰(三つ紋、縫い紋)
212	黒絹縮子橘模様紋付単女物羽織		抱き茗荷(一つ紋、縫い紋)
213	黒絹葵模様紋付単女物羽織		丸に木瓜(三つ紋、縫い紋)
214	黒絹縮無地紋付単女物羽織		丸に花菱(三つ紋、縫い紋)
215	黒絹縮紗縮緋露芝透模様紋付単女物羽織		三つ柏(一つ紋)
216	鼠絹縮緋無地紋付単女物羽織		六つ重ね丁字(一つ紋)
217	黒絹無地単女物羽織	昭和初期	
218	黒絹縮緋無地単女物羽織		
219	黒絹縮緋縫い取り宝づくし単女物羽織		
220	紺絹縮小紋単女物羽織		
221	紺絹縮総紋単女物羽織		
222	紺絹縮縦縞単女物羽織		
223	紫絹縮銘仙木の葉模様単女物羽織	昭和初期	
224	紫絹縮三寸模様単女物羽織		
225	薄紫絹縮縮緋幾何学模様単女物羽織		
226	水色絹縮子秋草地紋単女物羽織		
227	鼠絹縮緋木の葉模様単女物羽織		
228	鶯絹縮子扇模様単女物羽織		
229	緑絹縮緋小紋抽象模様単女物羽織		
230	茶絹紬幾何学模様単女物羽織		
231	茶絹紬縮緋単女物羽織		
232	茶絹紬縮緋単女物羽織		
233	茶絹縮銘仙横縞小菊模様単女物羽織		
234	茶絹紬縮緋単女物羽織		
235	桃色絹縮子花模様単女物羽織		
236	黒絹縮縦縞単女物羽織		
237	臙脂綿絞模様花模様単女物羽織		
238	鼠交織秋草模様単女物羽織		
239	臙脂交織花模様単女物羽織		
240	紫絹羽二重綿入単女物羽織下		

文化資料館収蔵衣類資料目録(1)

番号	資料名	年代	備考
241	青絹縮緬雲形模様袷女物長襦袢		
242	青絹羽二重継ぎ合わせ袷女物長襦袢		
243	紫絹継ぎ合わせ袷女物長襦袢		
244	紅絹縮緬花模様袷女物長襦袢		
245	紅絹綸子無地袷女物長襦袢		
246	桃色絹縮緬竹花模様袷女物長襦袢		
247	白絹綸子牡丹模様単女物長襦袢		
248	青富士絹軍記模様袷女物長襦袢		男児用祝着を仕立て直したもの
249	赤富士絹花模様袷女物長襦袢		
250	絹木綿端切継ぎ合わせ袷女物長襦袢		
251	白麻無地単女物長襦袢		
252	白木綿無地単女物長襦袢		
253	白木綿無地単女物長襦袢		
254	白木綿無地単女物長襦袢	昭和10～20年代	
255	薄緑毛織花模様単女物長襦袢		
256	薄茶毛織花模様袷女物長襦袢		
257	白化繊綸子花柄地紋単女物長襦袢	昭和20年以降	
258	白綿ネル無地単女物長襦袢		
259	象牙色絹宝づくし模様綿入女物長襦袢		
260	黒絹御召縦縞袷女物道行	大正～昭和初期	
261	黒絹菊笹模様袷女物道行		
262	青絹花模様袷女物道行		
263	鶯絹紋綸子波濤模様袷女物道行		
264	鶯絹御召縮緬袷女物道行		
265	濃茶絹紬緋袷女物羽織		
266	黒絹紬緯緋単女物道行	昭和初期	
267	紺絹紬縦縞袷女物半纏		
268	薄茶絹扇面花亀甲模様袷丸帯	昭和16年	婚礼用
269	白絹花鳥吉祥模様袷丸帯		
270	象牙色絹花に山水模様袷袋帯		
271	緑絹塩瀬染分花模様袷女物帯		
272	薄茶絹蝶織模様単女物帯		
273	多色絹裂織金糸横縞女物帯		
274	薄紫人絹博多模様女物軽装帯	昭和20年代	
275	紺木綿格子単女物帯		
276	鼠交織縞単女物帯		
277	鼠交織縦縞単女物帯		
278	薄茶交織ベルシャ模様単女物帯		
279	赤毛織裂織横縞単女物帯	昭和初期	
280	黒絹紹無地袷名古屋帯		
281	黒絹紹無地袷名古屋帯		
282	黒絹黒朱子に手描き薔薇模様袷名古屋帯		
283	紫絹錦糸雲取模様袷名古屋帯		
284	鼠絹小菊模様袷名古屋帯		
285	茶絹唐草模様袷名古屋帯		
286	緑交織花模様袷名古屋帯		
287	黒絹無地袷女物半巾帯		
288	鼠絹松毬模様袷女物半巾帯		
289	鼠絹独鈷模様袷女物半巾帯		
290	緑絹麻の葉模様袷女物半巾帯	大正時代	
291	茶絹菱小花模様袷女物半巾帯		
292	薄茶絹木の葉模様袷女物半巾帯		
293	薄緑麻竹模様袷女物半巾帯		
294	赤絹花葉玉模様女物扱き帯	昭和16年	婚礼用
295	白交織縞女物下帯		
296	黒絹綸子立湧菊花地紋女物帯揚		
297	黒絹紋綸子菊花模様女物帯揚		
298	赤絹紋り松竹梅模様女物帯揚		
299	白絹綸子桐地紋女物帯揚		
300	薄茶絹組紐縞帯留付女物帯締		

文化資料館収蔵衣類資料目録(1)

番号	資料名	年代	備考
301	薄黄絹平組矢羽根模様女物帯締		
302	赤白絹平組交差模様女物帯締		
303	白絹羽二重丸紵無地女物帯締		
304	紺毛織無地衿女物和服用コート		
305	鼠毛織無地衿女物和服用コート		
306	臙脂ベルベッド無地衿女物和服用コート		
307	黒絹無地紋付綿入男児祝着		丸に違い鷹羽(三つ紋)、お宮参り用
308	黒絹波松鶴模様紋付綿入男児祝着		丸曜(三つ紋)、お宮参り用
309	黒絹羽二重横縞武者絵模様綿入男児祝着		お宮参り用
310	黒絹羽二重吉祥模様紋付綿入男児祝着		下がり藤(五つ紋)、お宮参り用、314と重ねて着用
311	黒絹松鶴模様紋付綿入男児祝着		丸に違い鷹羽(三つ紋)、お宮参り用、313と重ねて着用
312	黒絹羽二重富士に松鶴模様紋付衿男児祝着	昭和33年	丸に橘(三つ紋)、お宮参り用
313	茶絹羽二重龍鳳凰模様綿入男児祝着		お宮参り用、311と重ねて着用
314	薄黄絹羽二重無地綿入男児祝着		お宮参り用、310と重ねて着用
315	青絹縮緬花模様紋付綿入女児祝着		下がり藤(三つ紋)、お宮参り用
316	淡青絹縮緬松竹梅鶴亀裾模様紋付綿入女児祝着	明治30年代	亀甲に下がり藤(三つ紋)、お宮参り用
317	紫絹松竹梅模様紋付綿入女児祝着		丸に違い鷹羽(三つ紋)、お宮参り用、328と重ねて着用
318	緑絹縮緬花模様紋付綿入女児祝着	大正時代	丸に違い鷹羽(五つ紋)、お宮参り用
319	赤絹格子地紋付綿入女児祝着		五七桐(一つ紋、縫い紋)、お宮参り用
320	朱絹羽二重花模様紋付綿入女児祝着		五七桐(一つ紋、縫い紋)
321	藤色絹染分四季草木模様紋付衿男児祝着		雪輪に片喰(五つ紋)
322	青富士絹軍戦模様衿男児祝着		
323	青毛織松鶴模様衿男児祝着		
324	黄黒絹羽二重染分軍扇模様衿男児祝着		お宮参り用
325	紫絹縮緬花流水模様紋付衿女児祝着		丸に違い鷹羽(三つ紋)
326	紫絹縮緬くす玉模様紋付衿女児祝着		麻の葉(一つ紋、縫い紋)
327	紫絹縮緬菊牡丹花模様紋付衿女児祝着	昭和17年	丸に三階松(五つ紋)、お宮参り用、329と重ねて着用
328	赤絹羽二重雲取模様衿女児祝着		お宮参り用、317と重ねて着用
329	赤絹縹子吉祥地紋衿女児祝着	昭和17年	お宮参り用、327と重ねて着用、331も同時に使用
330	淡黄絹縮緬ぼかし秋草模様単女児祝着	明治30年代	お宮参り用
331	朱化織花輪模様女児祝帯	昭和17年	327・329と同時に使用
332	紅白絹羽二重丸紵縫い取り花鳥模様女児帯締		
333	赤紫絹羽二重絞り花模様女児三尺帯	昭和20年代	
334	緑鼠化織絞り花模様男児三尺帯	昭和40年代	
335	緑茶化織絞り乗物模様男児三尺帯	昭和40年代	
336	紺絹縮緬縦縞綿入女児長着		
337	紺絹縦縞綿入男児長着		大人の晴着を仕立て直したもの
338	紺絹縦縞綿入男児長着		大人の晴着を仕立て直したもの
339	青絹トランプ模様綿入男児長着		
340	紫絹錦紗鶯兜模様綿入男児長着		
341	紺木綿井縞綿入男児長着		
342	緑木綿幼児絵模様綿入男児長着		
343	茶木綿縞綿入男児長着		
344	茶木綿縞綿入男児長着		
345	青毛織鶴兜模様綿入男児長着	昭和33年	祝着、380と重ねて着用
346	赤毛織鶴花模様綿入女児長着		
347	臙脂絹扇面模様衿女児長着		
348	紫富士絹松鶴模様衿男児長着		379と重ねて着用
349	紫富士絹舌切り雀模様衿男児長着	昭和28年	377と重ねて着用
350	紺木綿縞衿男児長着	大正時代	
351	紺木綿縞衿男児長着		
352	紺木綿縦縞衿男児長着		
353	茶木綿縞衿男児長着		
354	黒木綿縞衿女児長着		
355	赤木綿花鳥模様衿女児長着	昭和初期	
356	紫毛織流水菊花模様衿女児長着	大正～昭和20年ころ	
357	樺色毛織花模様衿女児長着		376と重ねて着用
358	白木綿矢井縞縞単女児長着		
359	白麻縞単男児長着	昭和初期	大人の長着を仕立て直したもの
360	紺麻花模様単女児長着		

文化資料館収蔵衣類資料目録(1)

番号	資料名	年代	備考
361	白絹紗花模様単女児振袖長着	昭和20年以降	
362	白絹ボイル花模様単女児振袖長着	昭和20年以降	
363	赤交織縮緬花模様袷女児振袖長着	昭和20年前後	幼児の長着と羽織を仕立て直したもの
364	白木綿無地袷乳児長着	昭和前期	
365	白木綿無地綿入乳児産着		
366	白木綿無地綿入乳児産着		
367	白晒木綿綿入乳児長着		
368	白綿ネル無地単乳児下着		
369	臙脂絹扇面模様綿入女児羽織		
370	紺木綿緋綿入男児羽織		
371	紺木綿緋綿入男児羽織		
372	黒木綿菊花模様袷女児羽織		
373	紫木綿花模様袷女児羽織		
374	紫木綿よろけ縞木の葉模様袷女児羽織		
375	薄茶木綿矢羽根菊花模様袷女児羽織		
376	樺色毛織花模様袷女児羽織		357と重ねて着用
377	紫富士絹舌切り雀模様袷男児ちゃんちゃんこ	昭和28年	349と重ねて着用
378	赤絹紋縮緬薬玉花模様綿入女児ちゃんちゃんこ		
379	紫富士絹松鶴模様綿入男児ちゃんちゃんこ		348と重ねて着用
380	青毛織鶴兜模様綿入男児ちゃんちゃんこ		345と重ねて着用
381	桃色化繊鶴花模様綿入女児ちゃんちゃんこ	昭和後期	
382	紺木綿緋綿入男児半纏		
383	茶木綿緋綿入男児半纏		
384	白木綿緋袷女児半纏		
385	白晒木綿無地単女児肌襦袢		
386	白木綿継ぎ合わせ綿入女児肌着		大人の晴着を仕立て直したもの
387	水色木綿花模様ねんねこ半纏	昭和30年代	